

Kyoto Hollywood News 京都ハリウッド通信

大岡越前 奉行を辞職か?!

大盗賊の完全黙秘にお手上げ



大盗賊・狐火の五郎蔵

大盗賊・狐火の五郎蔵(市川左團次)は五千両の隠し場所を白状するのか? 大岡忠相(加藤剛)は自らの進退を賭けた一計を案じる。「大岡越前」(毎週月曜夜八時・TBS系放映中)第十一話「狐火の五千両」は八月二十六日放映。



お江戸を震撼させた大盗賊の頭・狐の五郎蔵が捕らえられ、南町奉行所の躍に江戸市中が沸き返ったのも東の五郎蔵は勘定奉行所から盗み出した五千両の隠し場所を黙秘。せつかくの手柄一転して、南町奉行・大岡越前守忠相進退問題に発展している。

五郎蔵は手下の密告により、潜伏中船宿で捕らえられたにも関わらず、取調べに対し単独犯を主張。そればかり昨年一月二〇日夜、勘定奉行所より盗出した御用金五千両の隠し場所についても完全黙秘をしている。

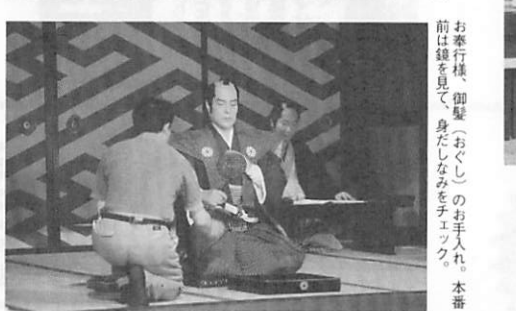
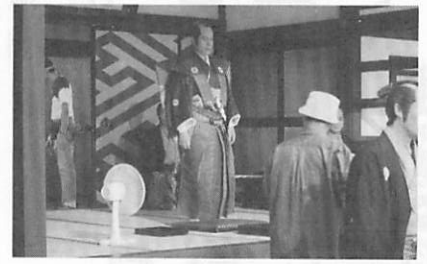
これについて勘定奉行は「犯人を捕えたのに御用金の所在をつきとめられは怠慢。(大岡には)町奉行の資格なと厳しく批判。連日の激しい拷問により仲間の名を明かさないう五郎蔵を英雄視する町民も多く「狐火をとらえてみたがてあまし ふうりふわりと五千両 やが廻った越前蟹どの」と大岡越前を罵する落首を、奉行所の門前に貼紙するも現れた。

一連の非難に対し大岡越前は「五郎に権柄すくで口を割らせるつもりはなあの男は仲間から裏切られ、一人殺し死を待っている」と同情を寄せながら小塚原での処刑を明後日に決定。五郎が五千両の隠し場所を自白しないまま処刑決定については「五千両の行方よ私の今までの信念を賭けた勝負といえと辞職を示唆する発言をし、その進退注目されている。」

密着！「大岡越前」撮影現場ルポ！

六月二六日「大岡越前」第一九話を撮影中の東映京都撮影所を取材。スタジオに組まれたセットを使用して午前九時より撮影開始。最大の見せ場である「お白州」の場面を山内鉄也監督が演出。この場面は出演者が移動しない、いわゆる「板付き」の芝居なので、単調にならない様、スタッフと出演者は細心の注意と工夫を払う。

暑くては味も出来ぬ？ スタジオ内はライトの熱で暑い！そのためハーサルの間は大岡様専用扇風機を用意。



脚を片手に吟味開始。お春は右手に持つのは吟味帳ならぬ、今回の脚本、妙に違和感がありません。

まずは白州の手入れから。撮影の間、スタッフや出演者の移動で崩れた白州を、一カット毎に削り直して修正。

吟味を中断、清掃タイム？ ライトの移動でついたスタッフの足跡やホコリの汚れをモップで清掃。

お春様、御髪（おぐし）のお手入れ。本番前は鏡を見て、身だしなみをチェック。

お白州をメジャーで計測？ 実はカメラから被写体までの距離を計測して、正確なピントを算出する作業です。

お春様様のコーヒータイム。セットアップの間、魔法瓶の蓋でコーヒーをすする。「うむ、良い味じゃ」

中村圭水、京都に復活！ 南座、必殺まつり

映画で死んだ中村圭水が、京都の南座に復活！ 八月一日から三日まで久々の「必殺まつり」を公演中。今回の演目は「中村圭水・大奥に参上！」。初演は平成元年七月三日の梅田コマ公演。白木万理の二役が見どころ。出演は藤田まこと、江波杏子、花紀京、白木万理、島田順司、山内としおら。監修・工藤栄一、脚本・保利吉 演出・中畑八郎。



中村圭水・大奥に参上！ストーリー。江戸城大奥で奥女中が次々と姿を消す。仕事の依頼を請けた圭水は、仕事仲間のおおむねと大奥に潜入させる。そんな折、圭水の知人の遺囑で、大奥の奥女中おせんの許婚者、佐太郎が招き出される。その直後、おせんの内情をめぐり命がけの争いが……。(お問、合わせ) 京都・南座 TEL075-666-1100

三田村邦彦の新妻は九〇歳？!

その友人は八〇歳の女子大生と四〇歳の不倫女医。九〇年前、男との恋に破れた美女が現代の京都に生き永らえ、男の子孫・三田村邦彦と結婚し、新妻には、男を次々と凍死させる四〇歳の氷女や、鳥辺山に住む八〇歳の女子大生などの友人がおり、真実を知った三田村邦彦は頭を抱えている。その上、近所に住む能面師も同類で、今年九〇歳になるらしい。また、河原町に



「必殺」の京都映画製作、朝日放送「土曜ワイド劇場」で放映されたカミヤの妖怪シリーズ「京都妖怪地図」156は各七六〇円（税別）松竹ホームビデオより発売中。

今月の言葉

「大岡越前」取材中、下山人・荒木文五郎を又五郎と言ってNGを連発した加藤剛氏。「どうも文五郎の文が又に見えて」と苦笑。「劇中、文五郎の名は誰も呼んでいないので、又五郎でもいいですよ」と山内監督が言えは、文五郎自身も「なんせ本人も名案ってないくらいですから、大丈夫ですよ」。結局、

京都妖怪地図

加藤氏たつての希望で「文五郎」で取り直しに。このような細部へのこだわりが番組の長寿の秘訣なのだろう。日本のハリウッド、京都で撮影された映画、テレビドラマなどを紹介する「京都ハリウッド通信」。今回は金田 耕助新対決！「古谷一行と豊川悦司はどちらが髪が長いか」「銀河鉄道の夜で鏡形直人がつぶやいた一言とは？」を予定。今後ともよろしく。一九九六年八月二十日 山田誠一

鳥辺山に住む四〇歳の氷女